

公共下水道事業特別会計

この特別会計には
8億4,400万円
の予算を計上しています。

担当：建設水道部 上下水道課 業務係・施設係 Tel.39-2317

公共下水道事業は、地域住民に水洗化を促進啓発することにより、潤いのある快適で衛生的な生活環境の向上と快適な居住環境を形成すると共に、公共水域の水質汚濁防止を図るために下水道整備区域の拡充と水洗化率の向上に努めています。

■富良野地区公共下水道

平成2年度より供用が開始となり、平成20年度末で、処理区域面積475.1ha(+1ha)、処理区域人口16,748人(▲99人)、水洗化人口15,550人(▲44人)、水洗化率92.8%(+0.2%)、年間有収水量1,478,659 m³(▲25,291 m³)、污水管延長が91,499mで総事業費は127億8,300万円を投資しています。



富良野水処理センター

■山部地区特定環境保全公共下水道

平成14年度より供用が開始となり、平成20年度末で処理区域面積66.3ha、処理区域人口は1,354人(▲37人)、水洗化人口1,018人(+5人)、水洗化率75.2%(+2.4%)、年間有収水量が82,984 m³(▲2,239 m³)、污水管延長は12,075mで総事業費は26億8,200万円を投資しています。



山部水処理センター

平成21年度予算

国の負担額	1,500万円
富良野市の負担額	8億2,900万円

下水道管理費（下水道事業の維持管理費用として）

- ・一般管理費（人件費、消耗品費、賦課徴収事務委託料、消費税等） 8,233万円
- ・水洗化普及促進費（水洗化改造補助金、改造資金貸付利子補給金、銀行への託金等） 86万円
- ・管渠管理費（マンホールポンプ所の燃料費、本ホールポンプ所の電話料金、污水桝等の修繕料、雨水幹線清掃委託料、賠償責任保険料等） 1,489万円
- ・水質規制費（質分析委託料、消耗器財費等） 27万円
- ・水処理センター管理費（水処理センターの動力費、施設修繕料、電話料及び画像回線使用料、水処理センター管理運転委託料、汚泥運搬委託料、汚泥処理委託料等） 1億1,965万円

下水道整備費（污水管布設や機械の更新等の経費として）

- ・管渠事業費（賃金、污水管測量調査委託料、公共下水道事業中期ビジョン策定委託料、污水管布設工事費、積算システム借り上げ量等） 3,025万円

公共下水道事業特別会計

公債費（処理場や污水管の施設建設や機械設備の為に借入れた地方債や低金利の起債に変更した繰上償還の元金の返済費と、その利子の償還金） 5億9,475万円
予備費（発的な修繕等に対応するための予算） 100万円

【平成21年度の主な事業】

○公共下水道事業

担当：建設水道部 上下水道課 施設係 Tel39-2317

この事業には
3,050万円
の予算を計上しています。

平成21年度は、管渠工事として昨年に引き続き学田3区の污水管布設工事を行います。その他としては、下水道污水管測量調査委託と中期ビジョン策定委託を実施します。事務費の一部は一般管理費の人件費に充てています。

国の負担額	1,500万円
富良野市の負担額	1,550万円

○起債の補償金無し一括償還

担当：建設水道部 上下水道課 業務係 Tel39-2317

平成19年度から3年間で国の高金利の起債の補償金無し一括償還が認められたので、平成19年度、平成20年度に続き、平成21年度も6%以上7%未満の1億3,386万円を借り換えて償還する計画であります。これにより将来の支払い金利が大幅に軽減となる予定です。

□下水道接続のお願い

担当：建設水道部 上下水道課 業務係 Tel39-2317

- ・下水道の本管工事が終了した区域の方は、4月から「処理開始区域」となります。
- ・生活雑排水は1年以内に、トイレは3年以内に水洗化しなければなりません。
- ・3年間以内であれば、配水設備工事の水洗化等改造資金助成制度の対象となります。た銀行より借入れを行う場合は無利子貸付となります。3年以内であればこのいずれかが受けられることとなります。ただし流し・風呂については1年以内の接続となります。
- ・早期に下水道に接続するようお願いいたします。